

概要

summary

コンクリート舗装版が不同沈下した場合、補修は打換えやオーバーレイが一般的でしたが、補修中の施設閉鎖が大きな障害となっていました。リフトアップ工法は、油圧ジャッキでコンクリート舗装版を持ち上げ、隙間にグラウトを注入して短期間に復元する工法で、昼間は施設を供用しながら夜間だけの工事で施工可能です。

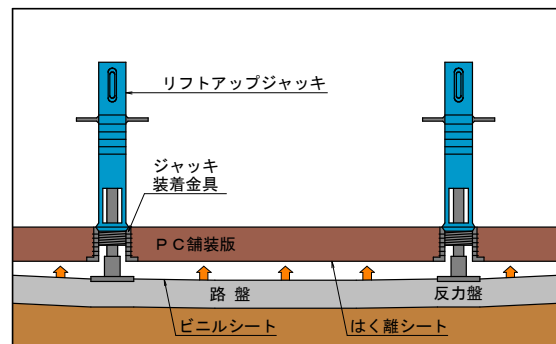
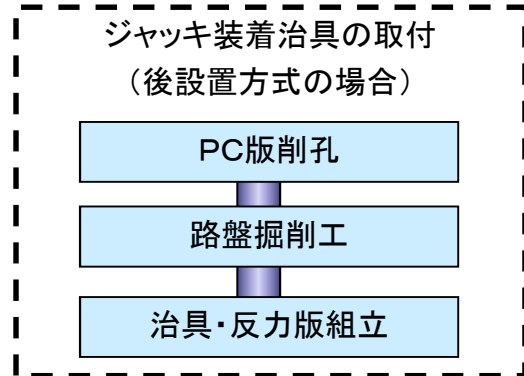
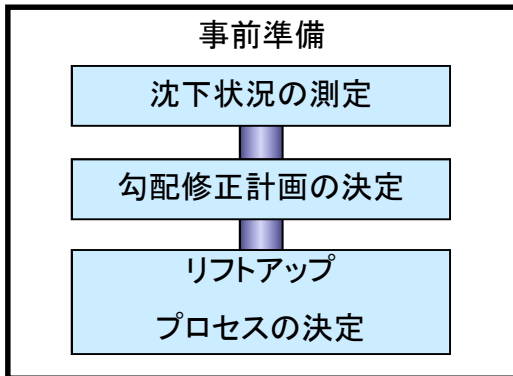


特長

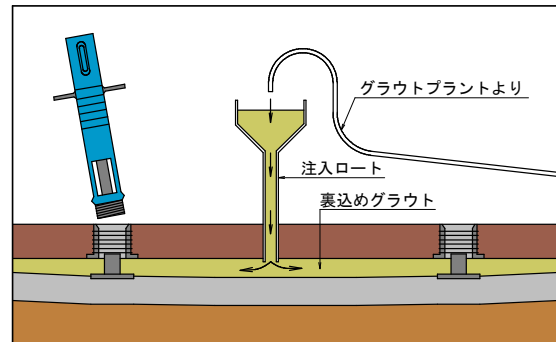
- **早期教養性** 6～8時間で施工完了するので、夜間閉鎖時間内での施工が可能です。
- **経済性** 大規模工事であるほど経済効果が高まります。
- **省力化** リフトアップ作業は、コンピュータ制御および管理による省力化が図られています。
- **繰返し施工** リフトアップ後、PC版の下に充填するグラウトとPC版との付着を防止することにより、繰返し施工が可能です。
- **利便性** オーバーレイしないので、舗装面のマーキングがそのまま使用できます。

リフトアップ工法は、当社が元運輸省港湾技術研究所滑走路研究室と共同開発したものです。

施工 execution



ジャッキアップ



グラウト注入

日工程表

	供用		閉鎖							供用	
	22:00	23:00	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00		7:00
準備工	■	■									
ジャッキ設置工		■									
リフトアップ工			■	■							
仮固定工				■							
ジャッキ撤去工				■	■	■					
グラウト工					■	■	■				
養生工							■	■	■		
跡埋・点検工								■	■	■	
清掃・片付け工										■	■

※空港閉鎖時間22:00~7:00とした。

リフトアップ工法